

アードベッグ、コアレンジのパッケージデザインを刷新 アイラ島の荒々しい自然と個性豊かな味わいを描いた新デザインへ 新たな定番、15年熟成「アードベッグ トゥルードーニッシュ15年」も登場



モエ ヘネシー ジャパン株式会社（東京都千代田区）が取り扱う、アイラ島のシングルモルト・スコッチウイスキー「アードベッグ（Ardbeg）」は、2026 年末より、コアレンジのパッケージを順次リニューアルします。今回のリニューアルでは、アードベッグを象徴するブラックを基調に、各ウイスキーの個性や味わい、アイラ島に息づく物語を、遊び心あふれるイラストレーションで表現。アードベッグらしい大胆でスモーキーな世界観を、より直感的に楽しめるデザインへと刷新します。

また、新たな定番 15 年熟成「アードベッグ トゥルードーニッシュ 15 年（Ardbeg Trudernish 15years）」も 2027 年春に登場。これまでのコアレンジに新たな深みと個性を加える一本として、アードベッグの魅力をさらに広げます。

アードベッグのコアレンジが新たな装いに

今回のパッケージリニューアルの大きな特徴は、アードベッグのコアレンジそれぞれが持つ「物語」と「味わい」を、ひと目で感じられるデザインへと進化したことです。アードベッグのクラシックなブラックと、ケルトの伝統を感じさせる「A」のモチーフやノットワークはそのままに、各商品には異なるアースカラーのアクセントを採用。アードベッグのラインナップをより分かりやすく楽しめるよう工夫されています。パッケージには、アーティストの Johnny Greenteeth による木版画風のイラストレーションを採用。各ウイスキーの個性や、その名前にまつわるアイラ島の風景・物語を描き、アードベッグのマスコット犬「ショーティー」もそれぞれの世界観の中に登場します。

さらに、ボックスとラベルには、テイスティングノートや「フレーバー・スナップショット」、使用されている樽の情報なども新たに掲載。ボトルを手にとるところから、それぞれのアードベッグが持つストーリーと味わいをより深く楽しめるデザインとなっています。なお、「アードベッグ ウィー・ピースティー 5 年」は、2020 年の発売以来続くネイキッドボトルのスタイルを引き続き採用します。



個性豊かなアードベッグ、それぞれの物語

アードベッグ ウィー・ピースティー 5 年

2020 年の発売以来続くネイキッドボトルに、荒々しい爪痕をあしらい、その“やんちゃな個性”を表現。バーボン樽とオロロソ・シェリー樽で熟成された「A Monster of a Dram（怪物級の一杯）」。

アードベッグ 10 年

波や雲の向こうに、8 世紀に建てられたキルダルトン・クロス、アードベッグ蒸留所のパゴダ屋根、象徴的なウェアハウス 3、蒸留器など、蒸留所を象徴する風景。アメリカンオークのバーボン樽で熟成された「The Giant of Smoky Complexity（アードベッグを象徴する、圧倒的にスモーキーで奥深い味わい）」。

アードベッグ ウーガダール

アードベッグの仕込み水の源であるウーガダール湖を中心に、山々や朽ちかけた建物、ボートなどを描き、ミステリアスな世界観を表現。バーボン樽とオロロソ・シェリー樽で熟成された「Dark and Mysterious Depths of Flavour（ダークでミステリアスな奥深い味わい）」。

アードベッグ コリーヴレックカン

名前の由来となったコリーヴレックカンの渦潮を中心に、渦に巻き込まれる樽や、伝説に登場するノルウェー王子ブレッカンの船をイメージ。アメリカンオークのバーボン樽とフレンチオークの新樽で熟成された「A Whirlpool of Turbulent Flavours（渦潮のごとく荒々しい味わい）」。



2027 年日本発売予定 新たな 15 年熟成「アードベッグ トゥルーダーニッシュ 15 年」

今回の新たなパッケージとともに、ブランド初となる定番 15 年熟成「アードベッグ トゥルーダーニッシュ 15 年」が登場。「トゥルーダーニッシュ」という名前は、アードベッグ蒸留所からほど近い、アイラ島南東部の古い集落に由来します。トゥルーダーニッシュは、アイラ島の中でも「エンチャントド・ケープ

（Enchanted Cape）」と呼ばれる、神秘的な伝説が残る地域の一部。周辺には「トゥルーダーニッシュの泉」にまつわる伝説も残されており、その泉の水は決して凍らないと言われています。

その神秘的な土地の名を冠した「アードベッグ トゥルーダーニッシュ」は、バーボン樽、チャーを施した新樽、オロロソ・シェリー樽で 15 年間熟成。アードベッグ特有のピートとスモークに、熟成によって生まれるクリーミーでなめらかなニュアンスを重ね、「ピーティー・パラドックス」に新たな表情をもたらします。

2026 年のサンフランシスコ・ワールド・スピリッツ・コンペティション（SFWSC）においてダブルゴールドを受賞しています。

商品概要

「アードベッグ トゥルーダーニッシュ 15 年」

- ・ 容量 : 700ml
- ・ アルコール度 : 48.8%
- ・ 熟成樽 : バーボン樽、チャーを施した新樽、オロロソ・シェリー樽
- ・ 希望小売価格 : 未定
- ・ 発売日 : 2027 年春予定
- ・ 発売先 : 全国の酒類販売店等



テイastingノート

色合い : 淡い黄金色

香り : 土っぽいピートと穏やかなウッdsmookの柔らかな波が、リッチなバニラクリームに包まれ、ファッジソースをかけたバニラアイスクリームを想起させます。甘さはフローラルなノートと溶け合い、松脂とヘザーハニーの繊細なヒントが加わります。青リンゴや洋梨などのオーチャードフルーツが爽やかさをもたらし、砕いた黒胡椒とドライハーブのニュアンスが複雑さを与えます。

味わい : クリーミーでフルボディ。アードベッグらしい力強いピートが滑らかな甘いバニラクリームの波へと溶け込みます。森の大地を想起させるようなアードベッグの定番のフレーバーが、黒糖のような深い甘み、ビターチョコとライムの爽やかな酸味、ハーバルミントへと続きます。さらに、みずみずしいリンゴや洋梨の風味、ミルクチョコレートに包まれたナッツのニュアンスも感じます。口当たりはなめらか。バニラのようなフレーバーが各層を貫く一本の糸のように走ります。

余韻 : 長く穏やか。ピートの残り火、バニラ、トーストしたナッツが続き、長くスモーキーな余韻へと導きます。



アードベッグ コミッティー

2000 年には熱心なファンの手によって「アードベッグ コミッティー」が誕生しました。現在では 140 カ国以上、20 万人を超えるメンバーが参加し、蒸留所からの最新情報や限定ボトルを受け取ることができます。入会は無料で、20 歳以上であればどなたでも参加可能です。

コミッティーメンバーの登録はこちら：<https://www.ardbegjp.com/account/register>

アードベッグ

1815 年にアイラ島で誕生したアードベッグは、世界で最もピーティーでスモーキーと評される究極のシングルモルトです。その強烈なスモークと繊細な甘みの両立は「ピーティー・パラドックス」と呼ばれ、世界中のファンを魅了してきました。今日では数々の国際的な賞を受賞し、“アードベギャン”と呼ばれる熱狂的なファンに支えられるカルト的存在です。

